

福津市ではSDGs(持続可能な開発目標)の考え方を踏まえた環境保全に取り組んでいます

環境掲示板

市うみがめ課 ☎62・5019 FAX43・9005
E-mail umigame@city.fukutsu.lg.jp



ボランティア活動用ごみ袋を配布

地域や子ども会などで道路や公園、海岸などの公共の場所をボランティアで清掃するときは、「ボランティア活動用ごみ袋」を無料で配布しています。団体名、実施場所、実施日、集積場所などを記入した臨時収集申請書を市うみがめ課に提出してください。申請書はホームページでダウンロードするか、市うみがめ課窓口で受け取ってください。



配布している
ボランティア袋▶

ボランティア清掃で集めるごみの分別方法は、家庭ごみの出し方と異なります。「可燃物」「金物」「ビン、ガラス」の3つに分け、それぞれの種類の袋をひと固まりに集めてください。

もし、ボランティア袋に入らないような大きなごみがあるときは、集積場所の袋の近くにそのまま置いてください。なお、落ちているごみの中には危険なものもあります。特に海岸では注射針や刺激臭のする液体の入ったポリタンクなどが漂着していることがあるので、清掃を行うときは、子どもの行動に気を付け、危険がないように配慮しましょう。また、体調やけが、事故などに十分注意して無理のない範囲で行ってください。特に、これからの季節は暑くなりますので熱中症などに気をつけて体調優先をお願いします。

せんてい 剪定くず・草類へのごみの混入

地域分別収集や剪定くず・草ステーションでは、家庭からの剪定くずや草類を受け入れています。この剪定くずなどを破砕するなどして農地の土壌改良材や家畜の敷きわらなどにリサイクルしています。ところが、この中に、家庭からのごみが混入する事案が発生しています。

これまで、発泡スチロールや段ボール、サッカーボールなどのごみが混入していた事例がありました。最近では、家庭菜園の苗を販売するときの容器や鳥害防止ネットなどが入っていることが確認されています。ごみの除去のため作業が滞るだけでなく、リサイクル製品にごみが混ざれば、品質が下がり普及に影響が出ます。



▲混入されたごみの例

ここに持ち込めないものに、キョウチクトウがあります。この木は、毒性があるため少量でも混入すると、リサイクルした敷きわらを食べた家畜が健康被害を受け、最悪の場合は病死することがあります。ベニヤ板などの加工された木材も薬剤を使っているため、リサイクルした製品に悪影響が出るので燃えるごみとして処分してください。ルールを守ってリサイクルを推進しましょう。